

アレルギーコンポーネントシリーズ Vol.3

ジャグ アールワン

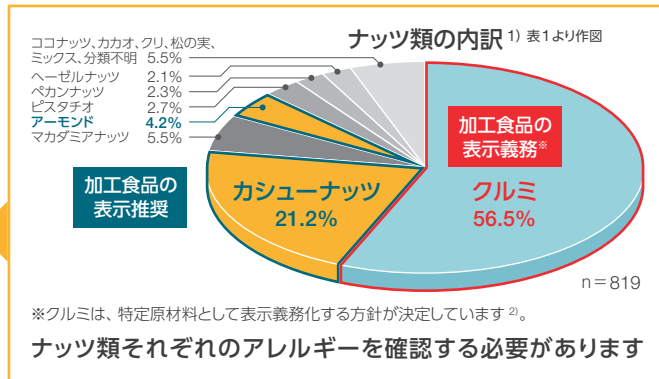
アナ オー スリー

Jug r 1 (クルミ由来) ・ Ana o 3 (カシューナッツ由来)

ナッツ類によるアレルギーは 鶏卵・牛乳に次いで多く報告されています

令和3年度 食物アレルギーに関する食品表示に関する調査研究事業報告書¹⁾

即時型食物アレルギーの原因食物 (n = 6,080)	
1	鶏卵 (33.4%)
2	牛乳 (18.6%)
3	ナッツ類 (13.5%)
4	小麦 (8.8%)
5	ピーナッツ (6.1%)

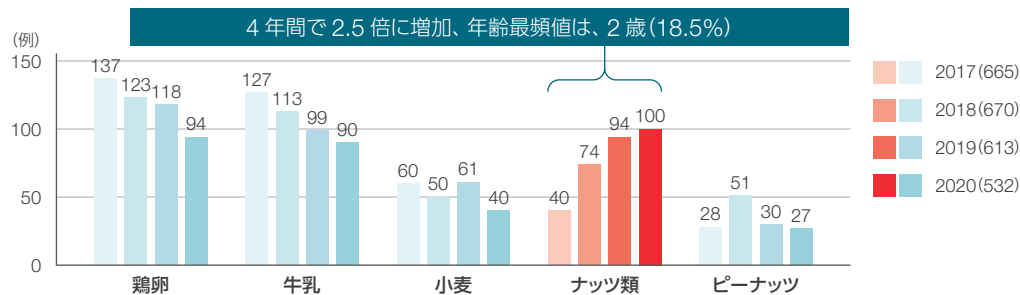


ナッツ類はさまざまな加工食品に含まれます

主食・主菜・副菜			菓子・嗜好品			
パン	和え物	カレー	チョコレート	杏仁豆腐	アイスクリーム	ケーキ
坦々麺	シリアル	食用油	リキュール	クッキー	五平餅	ゆべし

- 1歳時の鶏卵およびピーナッツアレルギーは、6歳時のナッツ類アレルギーへの感作の危険因子であることが報告されています⁴⁾。
- 食物アレルギーの経皮感作が知られています⁵⁾。**湿疹のある乳児**は、本人が未摂取でも家庭内での消費量が多い場合、注意が必要です⁶⁾。

ナッツ類ではアナフィラキシー症例も増加しています



愛知県の小児アナフィラキシー全数*調査結果³⁾

*アナフィラキシー・アナフィラキシーショックで受診した15歳未満の患者

特異的IgE抗体価を活用し 予期せぬアナフィラキシー症例を未然に防ぎましょう

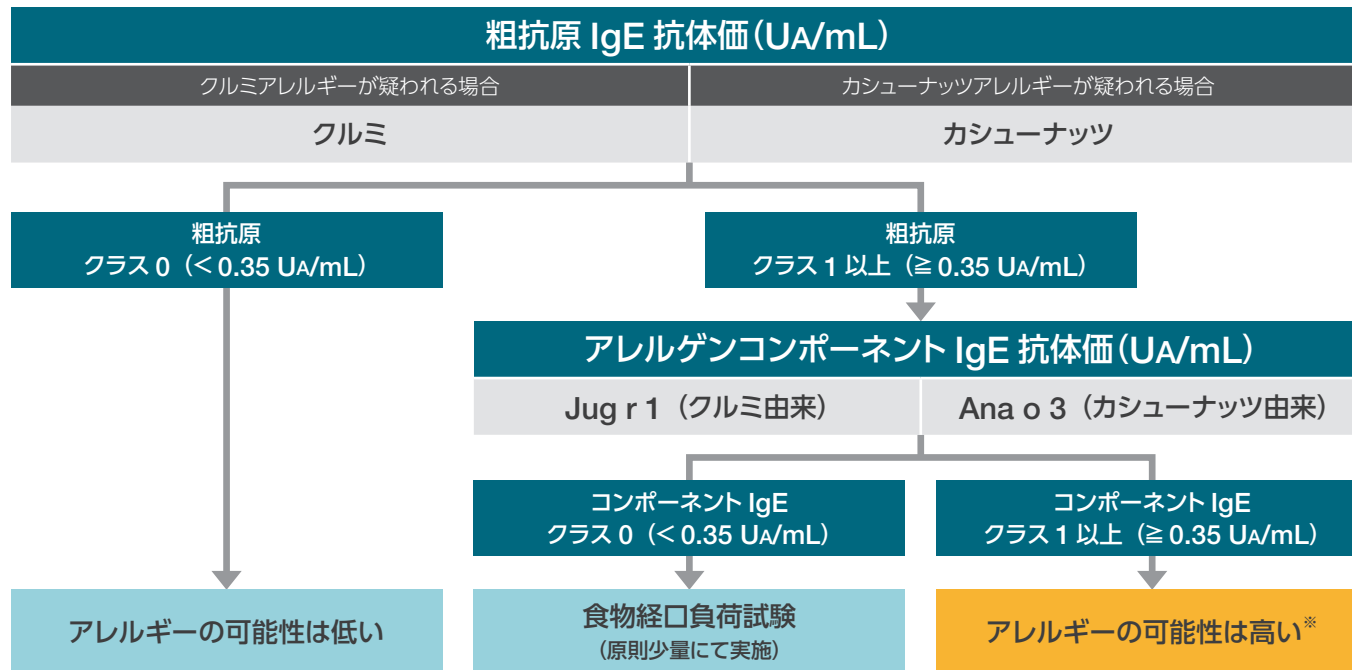
イムノキャップ (FEIA法) で測定可能なナッツ類*

クルミ	カシューナッツ	アーモンド
Jug r 1 (クルミ由来)	Ana o 3 (カシューナッツ由来)	ハシバミ (ヘーゼルナッツ)
ブラジルナッツ	ココナッツ	カカオ

※これらの検査項目は、株式会社エスアールエルで受託可能です

クルミ・カシューナッツ特異的IgE抗体検査の
使い方については裏面へ

クルミ／カシューナッツアレルギー判定フローチャートの目安



実際の診断には、血液検査の結果だけでなく、詳細な問診を実施し総合的に評価します。

* 専門の医療機関では患者さんの状況に応じて経口負荷試験を行うため、紹介を考慮します。また、Jug r 1 0.98 UA/mL、Ana o 3 2.2 UA/mL を超える場合は、経口負荷試験で陽性となる可能性が高く、血液検査の結果からアレルギーであると診断できると報告されています^{8,9)}。

食物アレルギーに管理の基本は「正しい診断に基づく必要最小限の除去」です。
摂取しても症状の誘発されない食物は必要以上に除去しないようにします。

監修 北村 勝誠 先生 あいち小児保健医療総合センター アレルギー科 医長



Learn more at thermofisher.com/hcp-jp

サーモフィッシャーダイアグノスティクス株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-2-8 住友不動産三田ツインビル東館 ☎ 0120-489-211 受付時間 9:00~17:30 (土日祝日、年末年始を除く)

✉ info-jp.idd@thermofisher.com

イムノキャップ™ 特異的 IgE およびイムノキャップ™ アレルゲン コンポーネントによる検査値からの目安です。
(FEIA 法)

マメ知識

クルミとペカンナッツ、カシューナッツとピスタチオの間には強い交差抗原性があり⁷⁾、どちらかのアレルギーと診断した患者さんには、両者の除去を指導します。

ナッツアレルギー患者指導のポイント

- ナッツ類は微量でも重篤な症状を起こす可能性があり、注意する。
- 菓子類やドレッシングなど加工食品に利用されることが多く、外見だけではわかりにくいいため、原材料表示の確認が必要である。ただしナッツ類の表示は義務ではない点や、店舗販売や外食では表示義務がない点を指導する。

参考文献

- 1) 令和 3 年度食物アレルギーに関連する食品表示に関する調査研究事業報告書(消費者庁)
- 2) 消費者庁ホームページ・伊藤消費者庁長官記者会見要旨(2022 年 6 月 1 日 14:00~14:18)
- 3) 日小ア誌 2022; 36: 141-147.
- 4) J Allergy Clin Immunol 2019; 143: 644-50.
- 5) Clin Exp Allergy 2015 Jan; 45(1): 255-64.
- 6) J Allergy Clin Immunol 2016; 137: 1248-51.
- 7) Allergy 2018; 73: 593-601.
- 8) 日小ア誌 2019; 33: 692-701.
- 9) J Allergy Clin Immunol Pract. 2019; 7(8): 2909-2911.